

A1008

A1008はNIM1幅に8chものスペクトロスコーピアンプを搭載したモジュールです。波形整形はアクティブフィルタ方式を採用し、理想のガウス整形に近づけております。最新の低雑音FETを利用したディスクリート増幅回路を採用しており、入力雑音特性を4 μ V以下に抑えております。アクティブゲート方式のベースラインレストアラも搭載しているため、高計数率などの測定にもご利用できます。A1008は特にHPGe半導体検出器を用いた測定において、優れた分解能と直線性を実現することが可能です。

主な特徴

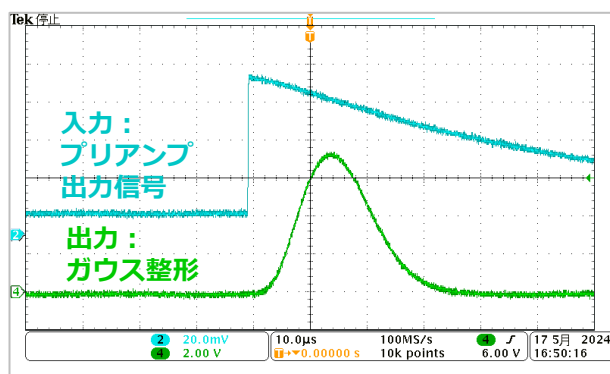
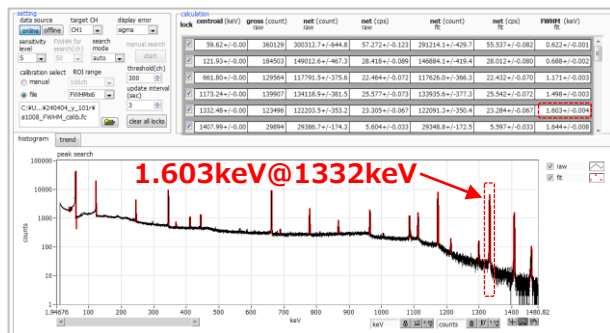
ゲイン	1~750倍
波形整形	セミガウス整形 ピーキングタイム2.2 τ , パルス幅6 τ
雑音特性	入力換算4 μ V以下 2 μ s時 ゲイン \geq 100
積分非直線性	< \pm 0.05% 2 μ s時
ベースラインレストアラ	アクティブゲート方式オートスレッショルド
高計数率特性	ピークの広がり最大15% 2 μ s, 入力計数率50kcps時

仕様

回路数	8チャンネル
入力極性	正/負 内部基板のSWにより設定
アッテネータ	\times 0.1/ \times 1.0 内部基板のジャンパーにより切替
CoarseGain	\times 20/ \times 50/ \times 100/ \times 200/ \times 500 内部基板のSWにより設定
FineGain	\times 0.5~ \times 1.5 パネル取付けポテンショメータにより設定
PZ ADJ	40 μ s~ ∞ パネル取付けポテンショメータにより設定
オフセット電圧	\pm 40mV パネル取付けポテンショメータにより設定
ShapingTime	0.5/2/6 μ s 内部基板のSWにより設定
入力特性	8チャンネルLEMOコネクタ レンジ: \pm 1.5 V, 入力インピーダンス: 1 k Ω
出力特性	8チャンネルLEMOコネクタ 正極ユニポーラ 0-10V, 駆動電流: 45mA
プリアンプ電源	D-Sub9 \pm 12V, \pm 24V (NIM規格準拠) 内蔵
前面	IN: 入力LEMOコネクタ OUT: 出力LEMOコネクタ F.G: ファインゲイン調整ポテンショメータ P.Z: ポールゼロ調整ポテンショメータ D.C: オフセット電圧調整ポテンショメータ
背面	プリアンプ電源用D-sub9ピンコネクタ
消費電力	+12V (最大200mA), -12V (最大180mA) +24V (最大220mA), -24V (最大200mA) NIMピン電源コネクタより
寸法・重量	NIM1幅 34(W) x 221(H) x 249(D) mm *突起物除く, 約980g



背面



※写真はイメージです。
※記載内容は予告なく変更することがあります。

